

## 台東区の住宅地図(明治以降)

パスファインダーとは、あるテーマや事柄について調べるときに役立つ、資料やツールを紹介する「情報探索ガイド」です。このパスファインダーでは、中央図書館が所蔵している区内新旧町名を調べる資料と、区内の大縮尺(☆「縮尺とは」参照)の住宅地図及び住宅地図に類する基本的な資料をご紹介します。

## ☆「縮尺とは」

国土地理院では、慣例として、縮尺を3つに大きく分類しています。

大縮尺	中縮尺	小縮尺
500分の1	2万5千分の1	50万分の1
2,500分の1	5万分の1	100万分の1
5,000分の1	20万分の1	500万分の1



「昔の住居表示が現在のどこに相当するのか知りたい」  
「現在の地名から、戦前の地名を知りたい」

郷土・資料調査室に寄せられるご質問なかで最も多いもののひとつです。  
古い地図を使って調べ物をするときなども、その土地の過去の地名を知っておくと便利です。

『台東区住居表示 新旧対照案内図』 (昭和39年 ～現在)	昭和39(1964)年以前の旧地名と現在の地名との対応がわかります。地番まで細かく記入してありますので、戦前の住所などを辿ることもできます。原本は貴重資料のため閲覧ができませんが、それぞれを地域ごとに9分割した複写版が5冊のファイルに収めてあります。なお複製版はコピーをすることも可能です。 ※ <b>書名：台東区住居表示新旧対照案内図</b> で検索し、それぞれの詳細内容をご覧くださいか、 <b>書名：台東区住居表示新旧対照案内図</b> + <b>キーワード：地域名(例：谷中)</b> で検索してください。	T291.3タ 棚5	
区内の地名・町名 について	『下谷・浅草町名由来考』	詳しくは 郷土・資料調査室パスファインダーNo.1「台東区を知る」をご覧ください。	T213.6タ 棚9
	『台東 下谷町名散歩』		T291.3コ 棚9
	『旧町名下町散歩 改訂版』		T291.3キ 棚9
	『道路橋梁考』		T213.6タ 棚9
角川日本地名大辞典 13 東京都	地誌編：現在の地名を「現行行政地名」で調べると、その直前の地名がわかります。 地名編：現行行政地名の直前以前の地名が調べられます。	T291.0ト 棚9	
日本歴史地名大系 13 東京都の地名	巻末に「五十音順索引」と「難読地名一覧」があります。	T291.3ト 棚10	

## 台東区の住宅地図やそれに類するもの

<p>住宅地図 (昭和37年～) 最新版は1階棚14</p>	<p>戸別名(建物名や表札表示による居住者名)が記された大縮尺地図で、地形図や道路地図らと区別して称されました。作成は昭和30年代以降で、それ以前に住宅地図は存在しないといわれていますが、住宅地図に似たものは存在します。当館には『東京都全住宅案内図帳』『全航空住宅地図』『ゼンリンの住宅地図』『東京都航空住宅地図帳』『航空住宅地図』『はい・まっぷ』『ブルーマップ 住居表示・地番対照地図』『ライフマップル東京』『街しるべ東京都』などがあります。 ※検索は <u>キーワード：台東区</u> + <u>書名等</u> で絞り込みます。</p>	<p>棚5</p>
<p>『火災保険 特殊地図』 (戦前・戦後)</p>	<p>「火災保険地図」「火保図」とも呼ばれます。火災保険料率算定のために都市製図社によって作成された地図で、住宅の地番のほか、建造物や居住者の情報が記入されている部分もあります。作成地域は火災保険の売上が見込めた繁華な市街地が主ですが、台東区は全域が作成されています。本来は一枚の地図ですが、当館には地域ごとに綴られたその複製が、戦前(1933～40)・戦後(1947～58)とありますが、地域によって作成された年は違います。</p>	<p>地図棚 引出し C4～ C10</p>
<p>商工地図 (戦前)</p>	<p>市街地の商店や会社などが明記された都市案内図です。当館では「大日本職業別明細図」(昭和3年～11年刊)のうち東京・神奈川・千葉・埼玉地域分を復刻して収録した『昭和前期日本商工地図集成 第1期 東京・神奈川・千葉・埼玉』(柏書房)を所蔵し、浅草区・下谷区版を抜き出して別置しています。</p>	<p>地図棚 引出し B6</p>
<p>地形図 (大正～昭和)</p>	<p>大縮尺の地形図は、学校、寺社、大きな建物などが確認できる場合もあります。『帝都地形図』は都市計画用地図として、大正11年から昭和22年に作成された東京区部の3000分の1の地形図に、現在の地図と解説を加えた地図集です。当館では台東区の掲載された第4集、第5集及び解説集があります。ほか、『東京都地形図』『大東京鳥瞰写真地図』『東京航空写真地図第1集』なども参考になります。</p>	<p>棚5</p>
<p>地籍地図 (明治11年 ～昭和10年)</p>	<p>登記所(現：法務局)役場などにある地籍図、公図などと土地台帳を併せ編集した地図で、当館には『東京地籍図 台東区編 第1巻 東京市下谷区地籍図/東京市浅草区地籍図 昭和9年・10年』『同 第2巻 東京下谷区地籍台帳 昭和10年』『同 第3巻 東京浅草区地籍台帳 昭和9年』『地籍台帳・地籍地図〔東京〕第3巻 台帳編3 大正元年』『同 第6巻 地図編2 大正元年』があります。そのほか『明治初期東京地籍図集成』明治11年から同12年の地籍復刻版もあります。</p>	<p>棚5</p>
<p>『江戸-東京市街 地図集成』 (明暦3年 ～明治34)</p>	<p>近代と前近代をつなぐ内容を持った東京の代表的な地誌記録として定評のある内務省地理局の「東京実測図」をベースに縮尺5千分の1に統一した地図です。時代の様相を通覧して知ることができます。第Ⅰ期：明暦3(1657)年～明治28(1895)年。第Ⅱ期明治20(1887)年～昭和34(1959)年の2冊に分かれています。当館では台東区相当部分を抜き出して別置しています。</p>	<p>地図棚 引出し C1～3</p>